



令和6年度 取手市立六郷小学校グランドデザイン

学校教育目標: 自ら考え、判断し、主体的に実践できる心豊かな児童の育成

茨城県教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力し合う心を育てる

茨城県総合計画

- 「いばらき教育プラン」(～R7)
- 政策11次世代を担う「人材」
- 政策12魅力ある教育環境

茨城県学校教育指導方針

- すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり

取手市教育目標

- ひとりひとりの能力を伸ばし未来を築く力を養う
- じょうぶな身体をつくり豊かな人間性をつちかう
- 郷土を愛し学びを生かし助けあう心を育てる

取手市教育振興計画 (～R6)

- チーム指導の充実
- 教育相談部会の実施
- 2学期制の導入



組織目標

【学校経営の重点】

- ・児童が主体的に学び合う課題解決型学習の充実
- ・互いのよさを認め合い、協働して活動する場の充実
- ・教職員の専門性や地域の教育力を生かした活動の充実

<校訓・めざす児童像>

自分で考える子 (確かな学力)

- 主体的・対話的な学びの充実
 - ・考える基礎となる学力の定着
 - ・問題解決型学習の実施
- 1人1台端末の活用
 - ・ICTスキルの習得
 - ・個別最適な学びでの活用
- 読書が好きな児童の育成
 - ・学校図書館の多様な利用



元気で明るい子 (健やかな体)

- 笑顔であいさつする子の育成
 - ・基本的生活習慣の定着
 - ・挨拶で繋がる人間関係づくり
- 心身共に健康な児童の育成
 - ・運動する機会の確保
 - ・計画的な教育相談の実施
- 保健安全学習の充実
 - ・危険回避、ストレス対応学習



すなおな子 (豊かな心)

- 互いの良さを認め合う
 - ・安心して自分のよさを出せる学級
 - ・考え、議論する道徳授業の実践
- 思いやりの心をもつ
 - ・縦割り班活動の充実
 - ・児童会活動、学級活動の充実
- 感謝の気持ちをもつ
 - ・協力し合う学校行事



よく働く子 (時代の変化に対応できる力)

- 進んで働く子の育成
 - ・縦割り清掃(びかびかタイム)の実施
 - ・児童が企画し活動する係活動
- キャリア教育の推進
 - ・キャリアパスポートの活用
 - ・体験活動の充実
- 環境教育の推進
 - ・SDGsの視点での環境教育



心の通う学級づくり～特別支援教育の推進～

- 自立と社会性の育成
- 校内支援体制の充実
- 個別の教育支援計画による継続的な指導
 - ・専門機関と連携した指導の充実
 - ・教員の指導向上に向けた校内研修の実施



特色ある教育活動

- 縦割り班での清掃活動とグループ遊び
- 地域人材や教材を活用した体験学習(自然体験、福祉体験)
- 地域と連携した学校行事(合同運動会、地域施設学習)
- SDGsの視点での持続可能な社会を目指す環境学習

学校運営協議会

- (R6～)
- 学校と地域との積極的な情報共有
- 特色ある学校づくりの推進
- 学校と地域の協力体制強化
- 学校教育活動の活性化
- いじめ、不登校などの課題の解決
- 児童の学力向上
- 家庭の教育力向上

特色ある地域活動

- 六郷地区公民館の活動
 - ・地域合同運動会
 - ・公民館祭り
 - ・各種サークル活動
- 地域の活動
 - ・地域の祭り
 - ・地域防災訓練
 - ・青少年育成会の活動
 - ・交通安全見守り活動
 - ・スポーツ少年団活動



めざす学校像

- 目標達成に向け、チームで取り組む学校
- 安心安全で、活力と魅力ある学校
- 信頼と協働で結ばれた地域と共に歩む学校



安全安心な学校づくり

- 定期的な施設の点検と整備
- 全教職員で児童を育てるチーム指導体制
- 各機関との連携による教育相談部会
- 家庭や地域と連携した安全パトロール
- いじめの未然防止(月1回の生活アンケートの実施と早期の教育相談)



開かれた学校づくり

- 保護者や地域と連携・協働した行事(合同運動会、町探検、各種学習)
- 地域人材と教育資源を活用した教育活動
- 学校教育活動の積極的な情報発信(学校だより、ホームページ等)
- 六郷公民館と連携した教育活動
- 地域安全協議会との連携

教職員の資質向上(めざす教師像)

- 子どもの成長に全力で取り組む教師
- 子どもの気持ちを深く理解し、子どもに寄り添う教師
- 自ら研修し、専門性を高め合える教師
- RPDCAサイクルで授業改善に取り組む教師
- 働き方改革、法令遵守を意識できる教師

働き方改革の推進

文書処理の電子化、校務分掌の簡素化、前例踏襲の改善(計画の効率化)、ペーパーレスでの職員会議、学習資源の共有化、学校行事の適正化、定時退勤の奨励(リフレッシュ・チャージデーの設定)

コンプライアンスの推進: 複数職員での児童や保護者対応、個人情報の使用場所と保管場所の徹底、教育公務員としての日常的な法令遵守の徹底、ボトムアップ型コンプライアンス研修(月1回)

校内研修テーマ

「児童が自ら考える授業」の実践